

富山県（富山県富山市、砺波市、南砺市）

R5 補正
R6 当初

37

背景・課題

米消費量が減少するなか、富山県では水田農業の収益力向上を目指し、機械化体系が確立している「たまねぎ」の導入・拡大を図ることが急務となっている。

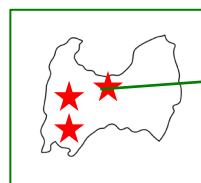
しかし、土壌病害である「べと病」の発生拡大が問題となっており、防除の省力化と化学農薬のみに依存しない防除対策の確立が強く求められている。

成果目標

- ・次世代土壌病害診断技術（ヘソディム）によるリスク診断と同診断による低リスクほ場の作付け、夏季湛水処理の耕種的防除技術による土壌菌密度の低減及び薬剤防除回数の削減
- ・ドローン防除による防除作業時間及び自動水栓利用による夏期湛水管理作業時間の削減

主な取組内容

- 夏季湛水により、タマネギべと病菌の検出率が1/4～1/6に減少することが判明。
- ドローンを活用した防除については、慣行の防除方法と比べ、40%程度省力化が図られることが判明。



富山市、砺波市、南砺市

構 成 員

県農業技術課広域普及指導センター、富山・砺波農林振興センター、園芸研究所、全農とやま・JA、たまねぎ生産農業者

品 目

たまねぎ（露地栽培）

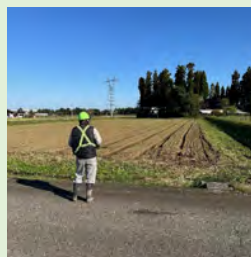
取組時期	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
	融雪後管理 （追肥・除草・防除）			収穫			育苗	定植	防除			

①夏季湛水



●べと病の菌密度が減少

②ドローン防除



●防除作業の省力化が可能

普及に向けた取組

事業の結果を踏まえ、導入効果や活用事例をまとめた「たまねぎのグリーンな防除技術マニュアル（仮）」を作成し、県内でのグリーンな栽培体系の普及を図る。

生産者からは、省力的で環境にやさしい技術の早期確立が求められているため、当事業により技術確立が図られれば、広く普及することが期待できる。

問い合わせ先

富山県農林水産部農業技術課広域普及指導センター
TEL 076-429-5042